

平成 27 年度 第 19 回国際資源学部執行部会議議事要旨

日 時：平成 28 年 3 月 11 日（金）13:33～14:41

場 所：国際資源学部会議室

出席者：佐藤学部長（議長）、宮本、柴山、安達、今井、藤井各委員

欠席者：なし

議 事

1. 平成 27 年度第 17 回、第 18 回執行部会議議事要旨の確認
第 17 回、第 18 回執行部会議の議事要旨が確認された。
2. 学生異動について
教育学生委員長（学部長）から資料 2 に基づき説明があり、審議の結果、了承された。
3. 学部研究生入学願について
教育学生委員長（学部長）から資料 3 に基づき説明があり、審議の結果、了承された。
4. 平成 28 年度非常勤講師人事計画について
教育学生委員長（学部長）から資料 4 に基づき説明があり、審議の結果、了承された。
5. 海外資源フィールドワーク委員会からの提案について
学部長から、海外資源フィールドワーク委員会から資料 5 のとおり提案があった旨説明があり、審議の結果、提案どおり承認された。
なお、各プログラムに要する旅費及び委員会において条件付許可となったプログラムの教員同行旅費について事務的に試算を行い、どこまで学部負担ができるか検討することとなった。
また、学生の旅費については、原則、成田空港又は羽田空港発着までを学部負担とすることが確認された。
続けて今井資源地球科学コース長から、資料 5 の 2-6 「タイ：チャトリー鉱山」については、閉山の可能性がある旨報告があった。
6. 平成 28 年度鉱業博物館研究員について
鉱業博物館長（学部長）から、資料 6 に基づき説明があり、審議の結果、了承された。
7. 各種委員の選出について
学部長から全学委員会等の委員について資料 7 に基づき説明があり、各コースに割り当てられた委員会の委員について、今月中に委員を選出されたい旨依頼があった。
8. 学部入試に係る追加合格について
学部長から資料 8 に基づき説明があり、私費外国人留学生 1 名が辞退したため、資源地球科学コースにおいて 36 名で学生を受け入れることが確認された。
なお、資源政策コース及び資源開発環境コースにおいては、予定どおり学生を受け入れることが確認された。

9. 平成 27 年度第 11 回教育研究評議会報告

学部長から資料 9 に基づき、教育研究評議会の報告があった。

なお、情報データベースの入力について、未だ入力・公開されていない教員について協力されたい旨依頼があった。

10. 後援会役員会等について

大川事務長から資料 10 に基づき説明があり、各コースの新入生からそれぞれ 1 名の理事を選出してもらいたい旨依頼があった。

また、4 月 6 日の入学式終了後に後援会役員会を開催し、その後新入生保護者ガイダンスを開催する旨報告があった。

11. 国際資源学教育研究センターとの連携について

学部長から、国際資源学教育研究センターへ出動している教員への業務の依頼については、センター長の許可を得てから行われたい旨説明があった。

12. その他

1) 学部長から、資源政策コース縄田教授が実施している人間文化研究機構総合人間文化研究推進センターとの研究協力について、4 月 1 日付けで当該センターから研究員が本学部へ派遣されることが決定されたとの連絡があったため、本学部の客員研究員として受け入れたい旨提案があり、審議の結果、了承された。なお、客員研究員の氏名等については、当該センターからの通知が届き次第、持ち回り審議としたい旨提案があり、了承された。

2) 宮本委員から、独立行政法人日本学術振興会ナイロビ研究連絡センターと在ケニア日本国大使館によるナイロビで開催されるシンポジウムについて、学術国際交流の推進のため共催名義としたい旨提案があり、審議の結果、了承された。

以 上